



川崎市職員労働組合
清掃支部
発行
川崎市川崎区東田町7-2
東田ビル2階
電話 044(222)5906
発行責任者 渋谷 勝美
編集責任者 稲葉 拓也

清掃支部ホームページ
QRコード



今も続くヘイトクライム

差別を許さない闘い

みんなで団結してガンバロー!!

2012年1月、支部組合員を宛先とした民族差別投書から始まった一連のヘイトクライム。それは8年たった今もおさまることなく断続的に色々な手法で続いている。差別投書を見て困惑したであろう分会員、対応にあたる支部・分会・事業所など、これは支部組合員とその家族に対するヘイトクライムであると同時に、私たちの考え方と対応が問われる事件でもある。

2019年10月、支部役員が新体制となり、改めて、支部長から差別を許さない闘いに向けた考えが表明された。

みなさん職場の仲間は何月に仲間の名前を使った非書、職場入口に書かれた差別投書、変だなど気づいたこと、投書が学校施設に送り付けられ、恐怖を感じる、尋常を逸すことがありますか？相手の気が配られませんでした。学校施設から外生まれませんか。一刻も早くで言うほど簡単ではあり、始め、投書に記載されている犯人を警察に検挙していません。人は知らぬ間に犯行ではないと、仲間が安心して働ける手のことを傷つけ、傷つけ、結果を学校施設側に報告をしたこと、犯行に関与して、仲間が安心して働けることが多くあります。

私たちの仲間は、繰り返される自宅と職場への差別投書や職場の前の道路に書かれた落書きにより心が傷つけられました。それが落ち着く間もなく、昨年11月、自宅や職場への差別投書、職場入口に書かれた差別投書、変だなど気づいたこと、投書が学校施設に送り付けられ、恐怖を感じる、尋常を逸すことがありますか？相手の気が配られませんでした。学校施設から外生まれませんか。一刻も早くで言うほど簡単ではあり、始め、投書に記載されている犯人を警察に検挙していません。人は知らぬ間に犯行ではないと、仲間が安心して働ける手のことを傷つけ、傷つけ、結果を学校施設側に報告をしたこと、犯行に関与して、仲間が安心して働けることが多くあります。

では職場集会等を開催することで、一連のヘイトクライム（憎悪犯罪）に対する考え方や意識の共有化を図り進めてきました。支部人権部では環境局研修検討委員会WGへ参加し、支部・局共催による人権学習会の内容を構築、また人権学習会には管理職を交えるなど、当局と一体となり意識向上を図り進めてきました。

清掃支部は仲間に対するヘイトクライムを許さず、人権学習会をはじめとした支部組合員の人権意識向上に向けた取り組み、当局に対する取り組み、また、上部団体である市職労本部や協力団体である「かながわみんどうれん」などと連携した取り組みを継続していく事が大事だと考えています。そのためにも清掃支部一丸となって団結していきたくと考えています。共に頑張りましょう。

（支部長 渋谷勝美）

せいそう労働者で、私たちの身近にいる在日コリアンが何を考え、想っているのかを知ることを目的に「隣にいる仲間を想う」を執筆いただいている林慶一（いむ きよんいる）さんに、これまでのご自身の経験や周りの方の体験談から、差別をはじめ人権諸課題に直面したとき、支え合いについての思いや考えをご寄稿いただきました。

特別寄稿

林慶一

昨年11月、特定の清掃支部組合員になりすまして韓国・朝鮮人を差別する内容の文書がある場所に送りつけ、脅迫した事件が起きました。そして今年1月27日、またもやその組合員の勤務する職場に、在日韓国・朝鮮人へ危害を加える等の内容の投書がありました。

このような投書は以前から断続的に何回も行われており、被害者の組合員本人やその家族の苦しみは容易に想像できません。最初に事件が起きたのは8年前の2

012年でしたが、清掃支部で、これは民族差別事件である、と捉え、関係する局や団体と連携して検討委員会の設置や学習会、集会の開催などを実施してきました。この取り組みに敬意を表します。しかし残念ながら今回また事件が起こり、本人やその家族はもちろん私たちも言葉にできないほどの憤り、絶望、恐怖を感じています。まさにこれは悪質きわまる事件であると同時に卑劣なヘイトスピーチ・ヘイトクライムでもあります。なんとか解決する方法はないのでしょうか？これはまさに「事件」なので警察に任せるといふ方法もあります。犯人が捕まれば一件落着という考えです。でも果たしてそれだけでいいのでしょうか？私はこれまで高校時代の一時期を除き民族名で生きてきました。学生時代は壮絶な民族差別を受け、希望をなくしかけたこともありました。社会人になってからも職場で名前や国籍を理由に理不尽な扱いを受けました。経験は一度や二度ではありません。

もあって高校生の時に民族名を名乗るようになり、ありのまま生きていくことが共生社会へつながると確信していましたが、元鎌倉市議会議員がその先輩の実名をあげて差別発言を行い、その内容がSNSで拡散されていったのです。鎌倉市とその市議を相手に提訴し、現在裁判闘争中です。彼の職場と関連する団体で支える会を結成し、署名活動や裁判支援等を行っていただきます。

また、ある在日コリアンの若者はずっと通称名で生きてきましたが、ある自治体の教員採用試験に合格したのを機に本名を名乗る決心をしたそうです。採用試験に受かったあと教育委員会から呼ばれ、「ぜひ本名で働いてほしい、本名で働くことによって子どもたちに希望を与えられるから」と言われたそうです。その自治体は在日外国人教育指導指針とあって、互いに違いを認めあい、共に学ぶ学校を築いていくための本名指導の手引を子どもたちに行っていて、そこで働く在日外国人の教員にも本名指導をしているということで（裏面へ続く）

す。もちろん当事者が名前や民族・国籍を理由に差別にあった時は全面的に支援体制をとるという前提があります。ここまでに至るにはやはり組合や人権問題を考える市民団体の働きかけがあったからです。

人は通常、仲間が不利益を被っているのを知ると心が痛み、自分に何かできることはないか、その人が救われるにはどうするべきか、ということを考えます。しかしひとりでは考えただけではどうすることもできません。私が学生時代に差別にあったとき、「名前でイヤな思いをしたらオレがたすけてやる！」という友人の言葉で救われました。これが現在も私が生きる上での原動力になっております。清掃支部が一貫して人権問題に取り組んでいる姿勢は素晴らしいと思います。冒頭に書いた差別事件は、今後も起こりうることです。仲間の一人ひとりの思いと行動が差別根絶の大きな流れになっていくと思えます。自分たちにどんなことができるのか、組合員のみなさんで考えていただきたいと思います。

支部旗開きが開催される

2020年1月16日(木)市労連会館5階講堂にて支部旗開きが開催され多くの組合員と来賓の方にご参加いただき交流を深めた。

旗開きは佐藤書記長の開会挨拶ではじまり、次に渋谷支部長から主催者挨拶が行われた。主催者挨拶では、台風19号に伴う災害対応について横浜清掃への謝意が述べられ、次に、支部組合員になりすまし複数の学校へ脅迫文が送られた件など、一連のヘイトクライムについて市職労本部や「かながわみんとうれん」と連携して対応し、当事者に寄り添いながらこの件に取組んでいくと述べられた。来賓挨拶に移り、市職労本部の萩原中央執行委員長、現業評議会の大野議長、組織内議員である飯塚・堀添両市議会議員から挨拶があった。

岩崎副支部長の乾杯で賑やかな交流が始まり、しばらくの歓談のあと他支部及び支部と協力関係にある団体から挨拶がなされた。NPO法人「信愛塾」の大石理事からは、清掃支部の力

▶旗開き 交流の様子

になりすまし、複数の学校へ脅迫文が送られた件など一連のヘイトクライムについて、一刻も早く解決しなければならぬ、自分の体験から仲間が差別にあっているときに一番大切なことは何か、それは俺たちが仲間だ、俺たちがいると声掛けすることだと思う、共に考えて行動を起こしていきたいという話がなされた。南部労組交流会や神奈川シティユニオンから激励の挨拶がなされたのち、各分会から新年の挨拶があり、最後に渋谷支部長から閉会の挨拶、団結ガンバローで旗開きが締められた。

分会だより

No.192

あけましておめでとうございます。加瀬分会です。



新しい年を迎えて清掃支部の皆さんも気持ちを新たに業務に取り組んでいる事と思います。私たち加瀬分会も同様に全員が協力し助け合いながら今年一年を無事故無災害で頑張っていく覚悟でいます。どうぞ本年も宜しくお願い致します。さて加瀬分会では、今年度の年末年始特別対策期間中も大きなトラブル等起こさずに無事に乗り切ることができました。普段から収集業務が効率良く加瀬に搬入できるよう頑張っているのと自負をしていますが、やはり加瀬の車も大きく、年越しの買入れ物に出かける車も多いに業務に取り組んでいる事、毎年の事ですが運転手たちはいつも以上に神経を使ったと思います。また加瀬分会では終業時ミーティングを効果的に活用し安全を最優先に考えた業務について活発に意見交換をしています。そういう場を設けることで無事故無災害が長く続くと考えています。今年も加瀬分会は、万全の体制を整えて中継輸送を頑張ります。

直営をよみかえる

仲間達 (349)

経つにつれ、痛みが強くなり、左足つま先までしびれが出てまともに歩くことも出来なくなりました。コルセットを巻き、湿布を貼り、痛み止めの薬を飲み、病院で電気治療を受ける毎日、家では寝ていることしか出来ず、何をすることも憂鬱で本当に地獄のようでした。一昨年の冬、腰を痛めてしまい、我慢して収集の仕事

た。椎間板ヘルニアと診断され、手術を勧められました。しかし、3度目のブロック注射でなんとか痛みがひき、手術は回避できました。痛みが取れるまで約1年本当に辛かったです。体を動かすことが好きでテニスや筋トレを宮前生環ではやっていましたが、まだ怖くてスポーツができません。現在は腰に負担のかからない水泳やストレッチを行って行っています。動けなくなつて初めて、健康で体を自由に動かせることがいかに